



御同朋総結集大会

१०

さし当たって今年（平成十三年）九月五日
神戸国際会館で「兵庫教区御同朋総結集二十
〇一年大会」が開かれます。

この大会は、二〇〇二年・二〇〇三年のそ
れぞれの「組結集大会」を経過して、最終
「兵庫教区御同朋総結集二〇〇四年大会」へ
収束していくその発足の意味をもつた大会
として計画されています。

何のために、何をする大会なのでしょうか。
「御同朋の社会をめざして！」
如来さまのおよび声（南無阿弥陀仏）のもと
で、すべての衆生がきょうだいとして生き生
きと生死できる世の中を願つて、みんなが知
恵とちからを出し合つて話しあいましょうと
いうのが、この大会のテーマです。
具体的には、昭和六十一年断行の「兵庫教
区組画変更」の趣旨を思いおこし、それ以後
の十五年間、わたしたち念佛者は、寺は、組
の連帯は、教区の組織は、どう変革したか、深
また変革していないのか。その現実を広く深
くつぶさに点検し、その反省点検を踏まえて、
「御同朋の社会をめざして」さらなる具体的
方策を立案し、道俗時衆ともに同心に奮起を
誓い合おうと願つのがこの総結集大会です。

にもかかわらず現実は…。
ときあたかも今年、同朋運動五十周年。
九月五日の二〇〇一年大会（三千人大会）
にむけて、「いま何が問題なのか」を、私の
上に、寺のありかたの上に、それぞれの組織
の上に、組のありようの上に、みんなで厳しく
く問うてみると。「そうして「できることか
ら始める」とすれば、それをどのように変革
すればよいのかそのプログラム。
そのそれぞれの課題・懸案を組で取り組み
だ結果が二〇〇四年大会（一万人大会）に當
々と報告できる日を期待して、われら御同朋
結集していま奮起いたしましよう。

ちなみに、「兵庫教区組画変更」というのは、まず、教区・組・寺という宗門行政組織のうえに歴然たる部落差別を持つていたそれを打破して、区画のうえにもまた「つきあいのうえにも、差別を払拭しようと組画変更が断行されました。またそれと並行して、寺は組は教区は、またはその他いろいろな組織団体は、「御同朋の社会」すなわち「みんなの寺」乃至「みんなの組織」になつてゐるのだろうか。その視点から僧侶のありかた門徒のありかたを問い合わせなければとの思いから組

いいのちを大事に大事にいきようナと言う、
そういう教えを私たちに伝えて下さった方が
親鸞様やで、そやで、親鸞様のお誕生をお祝
いするちゅうのは、取りも直さず、わたしの
命の誕生をお祝いすることにもなるんや。そ
れでめでたいんや。そやで、あしたは才寺に
お参りして、朝十一時からお正信偈のおつと
めがあつて、それから、村のおじさんやおば
ちゃんらが、本堂の中やけど、御馳走弁当い
ただきながら、めんめに歌うたつたり踊つた
り、如来様からいただいた命を祝い合い喜び
合うのやで。おばあちゃんもお参りするで、
憲ちゃんあんたもお参りせえへんか。」

僕は学校で今ちょうど、いろんな植物を詳しく観察して「もののいのち」について学習しているところでした。小さな雑草にも大きな美しい花にもそれぞれに一生懸命に生きよう伸びようとする「いのち」のはたらきがある。どんなものにも平等にすばらしいのちはたらきがある。

ここ一月の間に僕たちは、そんなことを学んでいたので、僕は、おばあちゃんが言つた「誰も誰もが如来様の大きな大きなのちを平等にいただいて」という話が、なんとなくよくわかりました。

きれいな香りでさく藤のはなも、花粉を散らしてたくましく伸びる松の花も、それからこんなにしてスポーツなどして遊んでいる僕らも、気づかないけれど何か不思議な大きないのちにささえられて、それぞれのいのちをそれぞれの生き方で力いっぱい生きていかなければならなんんだなと思いました。

それで明日の降誕会には僕もお参りしよう

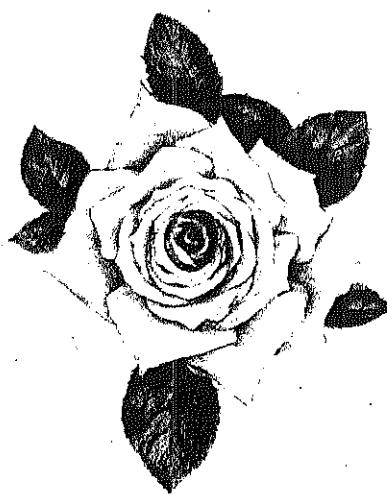
と決心しました。同級生の昌子さんも、あとで聞いたらおまいりすると言つていました。

「降誕会と言うのはナ、親鸞さまがお生まれになつた日をお祝いするんや。なんでお祝いするかと言うたら、ホレ、帰命無量寿如来いうあれや。あのおみのりを、私らにも伝えて下さつた。だれもだれもみんな、如来様の生きな大きなおめぐみいただいて、その如来さまのおいのちのなかで、一日一日もつたいな

五月二十二日 葬
堺本 武夫さん 七歳
八十一歳 日野



三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	
二十九日	三十日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日	三十一日	三十二日	三十三日	
D S	D S	D S	D S	D S	D S	D S	D S	D S	D S	
坂本武夫さま忌明	高福寺永代経	正福寺永代経 友遊クラブ	納骨研修旅行	正福寺永代経 納骨研修旅行	福成寺永代経 D S 検診	本覚寺永代経・西宗寺永代経 D S 教区基幹運動推進企画常任委員会	出石組仏婦連盟総会(光顕寺) 島根県瑞穂町参拝団来寺	近畿同朋運動推進協議会(本山) 研修旅行実行委員会	初田寿太郎氏宅法事 関岡敏雄氏宅法事	本覚寺永代経・西宗寺永代経 D S 研修旅行
出山石組念佛奉仕団	加古川組「聞法会」	正福寺永代経 同じ みのりを聞く会休み	正福寺永代経 研修旅行	福成寺永代経 D S 検診	本覚寺永代経・西宗寺永代経 D S 教区基幹運動推進企画常任委員会	出石組仏婦連盟総会(光顕寺) 島根県瑞穂町参拝団来寺	近畿同朋運動推進協議会(本山) 研修旅行実行委員会	初田寿太郎氏宅法事 関岡敏雄氏宅法事	本覚寺永代経・西宗寺永代経 D S 研修旅行	





△今のはしあわせ

九十五歳のおばあちゃん

昨年、秋口に急性肺炎に罹って一月ばかり入院いたしました。自分で驚いているのですが、この一ヶ月の入院で、いっぺんに足腰がだめになってしましました。足の裏がいたくへいたくてどうにもなりません。今じゃあ、なんの用にもたたんごくつぶしのからだでござります。

お寺参りはもうあきらめておりますが、せめてこの家へ来たじぶんからお参り欠かしたことのなかった家の中のお仏壇にも、お参りしたいとおもうのですが、そこへたどりつけも致しません。

ところが、人間、不自由に追い込まれて、そのとき初めて身の幸せに気づくものでしょうか。足たたず役立たずになってから、私初めて「なんと私はこんな幸せ一杯をいただいて生かされていたんだということに気づかせていただきました」

まず第一に、「おばあちゃん、お仏壇のところまでいかんでも、お仏壇、寝ながら拌めるようにしたげるはな」と。

うちの若いものらが、大工さん頼んできて、私の寝ている間とお仏壇の間とのあいだの押しこみと壁とを取り外し大改造をしてくれました。

「これでおばあちゃんが寝ても動けんでも、ほとけさんの方から、ナンマンダブと拌んでください」と。

こんなこというのです。この嫁は、実は終戦の歳であつたか、ちょうど五月の今頃田植えをしていてその日の夕方生まれたその子供です。夫の戦死したあとでした。

真向かいに
親の苦労を
聞くが信心

顔の向き合わない
心の触れ合はない
介護は空しい。

それからもう一つ。

迎え。こんな結構なセンターにまで連れてきて、お風呂にそのままいれてもらったり、家ではとてもいただかれぬ御馳走そのたびによれば、みなさんからおもしろい話聞いたり楽しい歌うたつたり。

歳よって身動きならんようになつてからこんな幸せなところにいさしていただきます。

家族や世間のみんなの人々に、こうしてまもられていかされている毎日が、もつたないなくてありがたくて、せめては、なるべくなるべく、人様に迷惑掛けないようにしたいと思うのですが、それさえままなりません。ただただもつたない申し訳ないことあります。

納骨参拝 研修旅行

この一年の九名の物故者のご遺骨を、宗祖親鸞聖人のご廟所(大谷本廟)に納骨いたします。

この法要には例年ご遺族はもちろん大勢の研修旅行団の方々も参拝下さっています。このことをご縁として、この毎年の研修旅行に一人でも多くご参加下さいますようご案内申し上げます。

経費 一人 男性 三万五千円
女性 三万三千円
仏事・仏婦会長

申し込み

申し込み書が代議員に送付しておりますので、地区代議員を通じて早急にお申し込み下さい。へすでにお申込みの方も、ご面倒ですがあらためて代議員までそのよしご通知下さい。六月九日必着



日次	スケジュール		
6/23 (土)	出石 ===== 登尾トンネル ===== 福知山 =====	6:00	7:00
	====《国道9号》==== やまがたや === 丹波ic ===	7:50【休】8:00	
	==《京都縦貫道》== 脊掛ic == 京都本山・西本願寺 ==	8:50	9:30 10:00
	== 西大谷廟(納骨堂) == 京都市内 ==	10:20	10:50 11:20【昼食】12:00
	== 京都東ic ==《名神道》== 吹田jct==	12:30	13:00
	==《近畿道》== 松原jct == 海南ic ==	13:50	15:30
	===== 鷺の森別院参拝 ===== 新和歌浦(泊)▲	16:00	~ 17:00 17:20頃
6/24 (日)	お宿 ===== 紀三井寺 =====《国道24号》=====	8:30	8:40【参拝】9:00
	==== 高野口 ===== 高野山【見学・昼食】=====	11:30	13:30
	== 和歌山ic ==《阪和・近畿・中国・舞鶴道》==	15:30	
	== 福知山ic == 出石	19:00	20:00頃